

▶会社の概要や特徴

山形の主に公共土木工事に長く携わり、昨年で創業110周年を迎えることができました。安全で安心な暮らしを支え、産業の発展に資する社会資本整備の促進と、豊かで恵まれた自然との共生と調和を実現していくことを会社の基本方針としています。

▶取り組んだ理由きっかけ

建設業は国民の安全・安心・生命を守るとともに、我が国の基幹産業である素晴らしい仕事であると思います。しかし、ツイ・キタナイ・キケンいわゆる3Kのイメージが定着した結果、担い手不足と高齢化が大きな問題となっています。これを給料が良く、休暇が取れる、希望が持てる建設業にしていくという新3Kに賛同しました。いい仕事はいい社員から生まれます。社員が働きやすい環境をつくりモチベーションを維持するために、4週8休がひとつのきっかけになればと思いました。

▶実現による効果など

現在国交省をはじめとして、4週8休を達成した現場においては経費的に補正することとなっています。補正率の引き上げは今後も検討していただきたいところではありますが、4週8休達成へのモチベーションとなっています。何よりも社員、特に若手技術者にとって大きなモチベーションの向上となっており、建設業は休みがないものだと思っていたところが自分の趣味や家族と向き合える時間を得られることとなったことが若い技術者にとって大きなやり甲斐となっています。

採用募集の場面においても、このような企業姿勢は学生から支持されているところです。

▶4週8休実現へのプロセス

当社の社員はほぼ全員月給制であったことに加え、従来より1年単位の変形労働時間制を採用しており、最近では年度末を除いては4週8休がある程度実現されていました。そのため、会社指定休日を増やすことにより対応可能で、就業規則の変更も必要ありませんでした。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

現場は自然環境に大きく影響され、臨機応変な対応が常時求められることから休みがとりにくい雰囲気がありました。ここからの意識改革がまず求められます。これにはトップの意向と決意が重要であると思います。

作業効率の向上、生産性の向上、ICT技術を最大限に活用して工期内完成を達成していく必要があります。

下請日給者への給与補償については、丁寧に説明して理解いただくこととなりますが、現在も取組途上にあります。

▶独自の取組や工夫されてる点

クラウドを利用したグループウェアを導入して、会社支給PC、自宅PC、スマートフォン、タブレットなどデバイスを限定せず、メール、社内ポータルサイト、チャット会議、ビデオ会議に活用しています。生産性向上に大きく寄与しています。